

令和5年度 議会懇談会 報告書

開催日時	令和6年2月17日（土）		会 場	板倉町役場 地域防災室
相手方名	一般町民		参加人数	23人
テーマ	防災に対する心構え		出席議員	全議員（12名）
	質問・意見	懇談会等での返答		対応
1	町の防災会議には、議員は代表の方しか出ていないと聞いているが、住民の命を守ることなのに、どうして全員が出ないのか。	執行部と話をしまして、議会を代表して正副議長、各委員長ということで5名です。町の総合計画も同じ対応で、正副議長と各委員長が出ることになりました。会議結果につきましては、全員協議会とか委員会の時に議員に報告する形を取っています。		当日の返答通り
2	議員は災害のときに何をしたらいいのか、役割を把握しているのか。	令和4年に災害行動マニュアルを作成したので、それに基づいて行動します。		当日の返答通り

3	要支援者は当然自助はできないので、共助で近所の人たちが連れて行くことになるし、高齢者も多い。これを自助、共助だけで出来るのか。今議会で考えているということだが、隣近所で要支援者の補助をしてくれと町から行政区にはくるので、これを今考えているとかではなくて、早急にどのように対応するのか、町にどう進言するのか、お聞かせ願いたい。	要支援者は、民生委員さんを中心に誰々の支援は、誰がするという調査をしたと思います。それがどこまで徹底しているか分かりませんが、再度各団体と調整を図りながら、要支援者は、誰々が責任を持って援助するとか支援するとか、そういった形を詰めていく必要があると思います。	当日の返答通り
4	先日、片田教授の講演の中で、行政や一般の人が要支援者を支援するのは、絶対無理だとおっしゃっていた。それは必ず町がやるべきだということをおっしゃっていたけれども、町に何千人というわけではないし、町は行政区ごとに解っていると思うので、早めに町でバスか何かを出して回っていただくというのが、一番いいと思うのだが。	要支援者を全部町に委ねるのは難しい所もあると思うのですが、その辺は調査をしながら、行政がやる所と日頃お世話になっている障がい者施設でお世話になるのか、並行してやっていくと考えるしかないと思います。議会としましても、進言はしているのですが、並行して対策を取っていくのが一番いいと思います。議会としても町のほうと相談しながら進めていければと思います。	当日の返答通り
5	車1軒に1台、人命第一ということと、車も財産ということで今回こういう方針になったようだが、農業者にとっては、車より高い農機具がある。台風19号の時も東の学校の周りには、トラクターがいっぱい入っていて、車を入れるのにもかなり苦労したようだった。そうした意味でも、住民の財産を守るということで、例えば若干低い所でも高価な農機具の避難等について検討していただけないだろうか。	あくまでも人命を優先し、避難通路を確保することが大優先になりますので、農機具については、いろんな意見が出るのですが、確保は難しいと思います。またこれは、行政に頼るのではなく、自分がどこに持っていくか、これを考えれば、必ずそれはできます。是非自分のトラクターの逃げ場所は自分で見つけておくことです。	当日の返答通り

6	ペットについては、家族だと言う方もいる。2週間とかいう長期にわたる避難ということを考えたのなら、やはりペットを残せない。今回の能登半島地震でもペットがいるから、避難できないと壊れかけた家の中で一緒に過ごしている方が大勢いた。せっかく検討していただけるのなら、ペットの避難等についても検討の材料にいただきたい。	ペットの同伴避難について検討するに当たり、やはり体育館とか校舎内ですと、ペット同伴での避難は出来ないということがあります。北地区と東地区の避難所は、ペットの同伴が出来るように、小さな犬でしたら車の中で一緒に生活できますし、大きい犬でしたら、避難所の片隅に犬を保護する形を考えて整備しています。	当日の返答通り
---	---	---	----------------